

# 衆議院厚生労働委員会ニュース

【第208回国会】令和4年3月4日（金）、第3回の委員会が開かれました。

## 1 厚生労働関係の基本施策に関する件

- ・後藤厚生労働大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）独立行政法人地域医療機能推進機構理事長 尾身茂君

（質疑者）宮本徹君（共産）、池下卓君（維新）、吉田とも代君（維新）、田中健君（国民）、中島克仁君（立民）、仁木博文君（有志）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 宮本徹君（共産）

#### （1）新型コロナウイルス感染症対策関係

ア 感染者数の下げ止まり及び年度の替わり目という状況におけるB.A. 2株への置き換わりの影響についての尾身参考人の見解

イ 厚生労働省アドバイザリーボードの西浦教授提出資料において第6波の死亡者予測が増え続けている原因についての尾身参考人の見解

ウ 高齢者施設での職員の頻回検査関係

a 世代時間が短いオミクロン株の特性を踏まえ検査の頻度を引き上げる必要性についての尾身参考人の見解

b 施設と相談しながら検査能力を強化する必要性

エ エアロゾル感染対策関係

a 最新の知見に基づく換気対策の必要性についての尾身参考人の見解

b 介護の現場へのN95マスクの配布を含む対策の必要性

#### （2）院内保育所の保育士を今般の処遇改善の対象とする必要性

#### （3）看護職員等の処遇改善における民間病院・公的病院・公立病院それぞれの申請しない理由及び申請しないことへの対応策

#### （4）「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」の見直し関係

ア 1日の休息時間を原則11時間とする当初案及びそれを緩める追加案の根拠

イ 運転手の命を守ることが国民の安全を守ることという認識を持って見直しに臨む必要性

### 池下卓君（維新）

#### （1）難病対策関係

ア 平成27年1月の施行から5年以上経過している難病法の改正及び運用の見直しを行う必要性

イ 指定難病患者データベースに医療費の支給認定がされない軽症の難病患者が登録されていない事実の確認

ウ 軽症の難病患者のデータベースへの登録を進めるため登録した患者にインセンティブを付与した上で登録証の発行を行う必要性

#### （2）新生児マスキング検査（先天性代謝異常等検査）関係

ア 検査の定義・根拠・これまでの経緯及び検査の地域格差についての認識

イ 脊髄性筋萎縮症等の検査対象外の疾患を対象とするに当たって必要となる研究成果及び検査の周知・啓発により早期検査につなげる必要性

ウ 検査の実施を地方自治体任せではなく法的根拠を設け国の責務にする必要性

#### （3）難病入院患者がDPC（包括評価制度）方式の医療機関では高額な新薬を処方してもらえない可能性及び処方可能なことの周知・啓発の今後の取組方針

- (4) 慢性腎臓病対策として年1回の健康診断に血清クレアチニンや微量アルブミンの項目を取り入れるとともに各地方自治体に対する補助制度を創設する等の取組を国が進める必要性
- (5) 子宮頸がんワクチン関係
  - ア 「積極的勧奨」と「勧奨」の違い及び積極的勧奨のためのパンフレットを改善する必要性
  - イ 子宮頸がんワクチンの接種率が低いことに対する厚生労働大臣の見解

#### 吉田とも代君（維新）

- (1) 新型コロナワクチン接種後の後遺症に関する診療の手引きの作成や専門外来設置の必要性
- (2) ヤングケアラー関係
  - ア 令和2年度に実施された中高生対象の実態調査は対象が限定され回答率が低いなど正確な実態を反映していないとの指摘を踏まえた更なる調査の検討状況
  - イ 小学生及び大学生を対象とした実態調査の調査方法及び進捗状況
  - ウ 自治体に実態把握や支援を義務付ける必要性
  - エ 支援につなげるために重要な関係機関の連携に対する国の支援策
  - オ ヤングケアラー支援体制構築モデル事業関係
    - a 配置されるヤングケアラーコーディネーターにおいて想定している能力・資格
    - b 相談窓口の存在を子どもに知ってもらうための方策
  - カ 2022年度から2024年度までの集中取組期間において行う広報啓発活動の具体的内容
  - キ 「知って、肝炎プロジェクト」や「ピンクリボン運動」のような早期に認知度向上を図るための効果的な方策を検討する必要性
  - ク 教職員等子どもに接する機会のある大人たちに知識の普及を推進する必要性
  - ケ 家事や育児支援を提供する子育て世帯訪問支援臨時特例事業を多くの自治体が実施するようにするための方策
- (3) 新型コロナウイルス感染症に伴う生活不安・ストレスなどによるDVの増加に対応するため設けられた「DV相談+（プラス）」を恒常的に設置する必要性

#### 田中健君（国民）

- (1) 新型コロナウイルス感染症関係
  - ア まん延防止等重点措置を解除する条件
  - イ 前回のまん延防止等重点措置の延長に対する基本的対処方針分科会委員2人の反対意見についての政府の受け止め及び活用方法
  - ウ オミクロン株の発生から2か月以上経つ中で季節性インフルエンザとの肺炎発生率のデータの比較が行われていることの確認
  - エ エビデンスに基づいたまん延防止対策を実施する必要性についての政府の見解
  - オ 2月24日の厚生労働省アドバイザリーボードにおける有識者の提言を踏まえた濃厚接触者の捉え方についての政府の見解
  - カ 陽性者の把握の現状
  - キ 政策判断に活用するために陽性率を正確に把握するべきとの意見についての厚生労働大臣の見解
  - ク 医療機関を受診せず自主療養を認める神奈川県における自主的な取組及び当該取組により感染者の全数把握ができていない現状についての厚生労働大臣の見解
  - ケ 5歳～11歳の子どもに対するワクチン接種関係
    - a 各自治体による接種券の配付方法の把握の有無
    - b 国が各自治体の取組を把握する必要性
- (2) 人口問題関係

- ア 令和3年人口動態統計速報において死亡者数が増加した理由
  - イ 同速報において出生数及び婚姻数が減少した理由
- (3) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い臓器移植件数が減少していることへの対策並びに米国で成功したとされる豚から人への心臓移植についての日本における現状及び課題

**中島克仁君（立民）**

- (1) 在宅医が患者宅で患者の家族に殺害された事件関係
- ア 事件について在宅医療を推進する立場としての厚生労働大臣の受け止め
  - イ 事件を背景に在宅医療が委縮することを防止し在宅医療従事者の安全を確保するための取組及び決意
- (2) 新型コロナウイルス感染症関係
- ア 厚生労働省アドバイザリーボードで示されたオミクロン株の致死率の高さやステルスオミクロン株への置き換わりの懸念を踏まえて昨年11月に取りまとめられた取組の全体像を見直す必要性
  - イ 今年1月以降の自宅療養・介護施設・障害福祉施設における各死亡者数の確認
  - ウ 現在において医療を必要とする自宅療養者が医療に確実にアクセスできる状況にあるかの確認
  - エ 第6波から第7波への移行及び今後の第8波への懸念を踏まえて確実に医療につながるようコロナかかりつけ医制度を導入する必要性
  - オ 子どもへのワクチン接種は重症化率の低さ及び死亡者がいないという状況から基礎疾患のある子どもに限定して勧奨すべきとの考え方についての厚生労働大臣の見解

**仁木博文君（有志）**

- (1) 新型コロナワクチン関係
- ア 4回目接種を実施する可能性
  - イ ワクチンの保存期間や有効期限の延長を不安に感じる接種者に医療従事者が適切に情報を伝えられるようにするなどのリスクコミュニケーションをつくる必要性
  - ウ ワクチンが1人1バイアルのプレフィルドワクチンではなく1バイアルにつき複数人打つことが予定され開封後の有効期限が短いことから起こる残薬の廃棄量
- (2) 介護現場で働く無資格者や経口治療薬を陽性者に届ける宅配業者といった今般の処遇改善の対象外とされている者に対する支援を拡充する必要性についての厚生労働大臣の見解

**2 雇用保険法等の一部を改正する法律案（内閣提出第14号）**

- ・後藤厚生労働大臣から趣旨の説明を聴取しました。